

2019年5月16日(木)
愛知県政策企画局
国際課国際戦略グループ
担当 柴田、齋藤
内線 2448、2256
ダイヤル 052-954-6130

知事の中国渡航中の行事結果について

5月16日午後、知事は広東省深圳市において陳市長と面談しました。その後、広州市において広東省と友好提携を締結しました。

1 深圳湾創業広場への訪問及び陳深圳市市長との面談（担当課：国際課）

(1) 日時

5月16日(木) 午後3時40分から午後4時30分まで
(日本時間5月16日(木) 午後4時40分から午後5時30分まで)

(2) 場所

五洲賓館（広東省深圳市）

(3) 面談者

陳如桂（ちん・じょけい）市長

(4) 愛知県側出席者

大村知事

(5) 内容

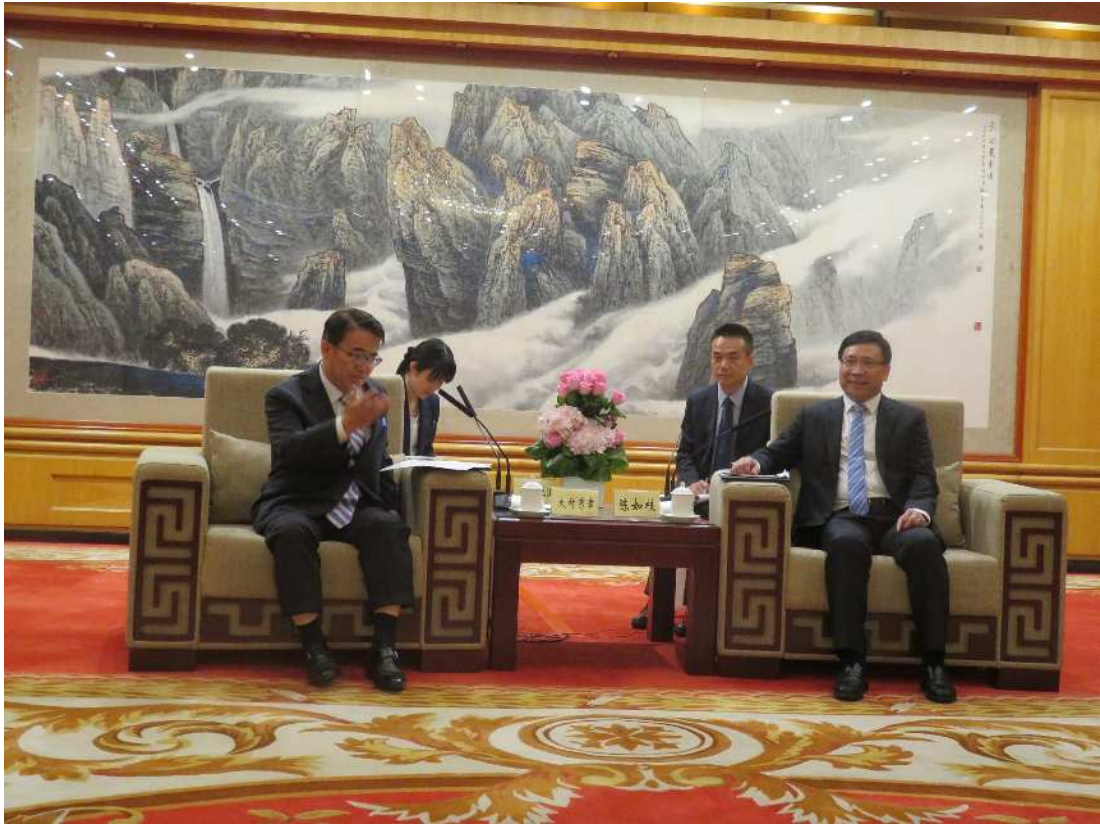
知事は、深圳湾創業広場を訪問し、邱文（きゅう・ぶん）深圳湾科学技術発展有限会社中国共産党委員会書記兼取締役社長と面会し、深圳湾創業広場の概要説明を受けた後、陳深圳市市長と面談した。

陳市長は、スタートアップ支援の取組や、水とエネルギーの消費が中国一低い、環境に配慮したクリーンな町であることなどを紹介した。

また、今回の訪問を機に、スマートシティの開発をはじめ、経済、文化、産業など幅広い分野で愛知県との交流を深めたいとの発言があった。

知事は、今回の渡航では清華大学など主要な大学と協議し、共同でスタートアップを支援する合意を得たと述べたとともに、昨日杭州市を訪問し、2022年に杭州市、2026年に愛知県で開催するアジア競技大会を共同で盛り上げることで同意したと述べた。

本日この後はMOUを結んでいる広東省を訪問し、友好提携を締結することに触れ、締結後は科学技術やイノベーション、スタートアップ分野で連携、協力が期待できると述べたほか、深圳市と清華大学が設立したスタートアップ支援機関である「深圳清華大学研究院」との交流など、スタートアップ支援で先進的な深圳市と連携・交流を深めていきたいと発言した。



陳如桂深圳市市長との面談



知事と陳如桂深圳市市長



面談参加者との記念撮影

2 広東省との友好提携締結（担当課：国際課）

（1）日時

5月16日（木）午後6時45分から午後7時25分まで

（日本時間5月16日（木）午後7時45分から午後8時25分まで）

（2）場所

広東珠島賓館（広東省広州市）

（3）署名者

愛知県 大村秀章 知事

広東省 馬興瑞（ば・こうずい） 省長

（4）内容

愛知県大村秀章知事と広東省馬興瑞省長は、愛知県と広東省が2013年11月に「友好交流及び協力関係を発展させることに係る覚書」を締結して以来、高校生訪問団の相互派遣等の人的交流や経済交流を中心に進めてきた両地域の友好・協力関係を、経済貿易、先端製造、科学技術イノベーション、環境保護、文化観光、教育などの幅広い分野で更に発展させることを目的に、友好提携を締結した。

締結式では、馬省長から「覚書の締結以来5年間の努力の末、正式に友好提携を締結できることになったのは、大村知事の貢献によるものである。広東省と愛知県はともに製造業で優位性のある地域。今日は歴史に残る日となった。今後様々な交流分野でプラットフォームを作っていきたい。」との発言があった。

これを受け、知事は、「馬省長とは4月の桜が満開の名古屋でお会いした際、友好提携の話で盛り上がったが、1か月で提携の運びになったのは省長のリーダーシップのたまもの。広東省では、トヨタ自動車を始めとして約200社の愛知県企業が活発に事業を展開している。特にトヨタ自動車は、広州自動車との提携を拡大し、またインダン社との提携を発表しており、広東省は愛知県と先端的な経済交流のある地域。また、本日深圳市を訪問し、陳市長とお会いしてITやスタートアップ分野で交流していくことを合意した。中国の最大の経済地域である広東省と日本経済の成長エンジンである愛知県が協力関係を深めることによって、日中の未来をさらに明るくものにしていきたい。」と述べ、今後一層の関係強化を約束した。



馬省長との会談



調印の様子



馬省長との友好提携締結式



馬省長との記念品交換



友好提携締結式出席者との記念撮影